

八戸学院大の新学長に就任する

この人



みずの 水野 眞佐夫 さん

「趣味は毎朝のトレーニング。ランニングとウエイトを組み合わせて、昨春の1カ月で体重を約10キログラム減らし、維持している」。専門分野の健康・スポーツ科学

という縁で、北海道大学大学院教授の傍ら2015年度から八戸学院の非常勤講師を務め、スポーツ生理学などを教えてきた。「学生たちはすがすがしくて若々しく、身近に感じた」という。同大は1981年に八戸大学として開学。「約40年、地域経済を支える人材を多数輩出してきた。この流れに大学独自の強

を地で行くスポーツマンだ。

大学運営のキーワードに「スポーツ」を掲げる。「多くの優秀なアスリートを輩出している大学で興味があった」。大学を運営する学校法人光星学院の法官新一理事長が大学の先輩

みとしてスポーツを組み込みたい」と力を込める。「例えば秋の大学祭に加え、学生の部活を見てもらう催し、今年完成する市屋内スケート場を活用した学生と市民の健康づくりも考えられる」。アイデアは尽きない。

北九州市出身。都内の大学を卒業後、デンマークの大学と公立病院で四半世紀にわたり医学に取り組んだ。大学国際化への思いは強い。「国際交流拠点の役割をキャンパスに持たせた。学生たちには異文化を学び、共生する志を持って、世界に大きく羽ばたいてほしい」

今は札幌市在住で、春までに八戸市へ移住する。「酒はやめたが、美味な魚介が深夜まで楽しめるのが八戸の魅力」。長男(25)と長女(18)がデンマーク在住。64歳。(若松清巳)【本記28面】